

# 九州(K-RIP)ーマレーシア(マラッカ州)環境産業交流事業 ー 7月 招聘プログラム ー



平成25年7月

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)  
九州経済産業局

## 1. 招聘プログラム概要

- 九州経済産業局環境対策課および九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(以下、K-RIP)は、7月8日(月)～10日(水)、マレーシアマラッカ州政府団(ダトゥク・ユノス大臣ほか7名)を招聘し、以下の交流プログラムを実施。
  - (1) 表敬 … 九州経済産業局長表敬
  - (2) 協議 … 九州経済局資工環部、K-RIP、九工大と交流について協議(MOU締結等)
  - (3) 歓迎レセプション … 北九州市の環境関連企業とマラッカ州政府団と意見交換
  - (4) 企業訪問(6カ所) … 先導的な取り組み事例の視察
  - (5) 九州エコフェアの見学・商談 … K-RIP会員の出展ブース見学・商談
  - (6) マラッカ環境ビジネスセミナー … マラッカ州政府団による環境プロジェクト等の講演

## 2. 事業効果

- マラッカ州政府団が、高い環境技術・社会システムを確認することにより、九州との環境ビジネス交流への関心が高まった。
- 一方、企業側では、マラッカ州政府団と直に接することにより、関心の箇所と度合いの確認ができ、今後の商談等への支援材料として期待される。
- また協議等では、K-RIPとマラッカ・グリーンテクノロジー協議会がMOUを調印するとともに、具体的なアクションを起こすことで合意に至った。

## 3. 今後の展開

- 10月に九州経済産業局及びK-RIPが、東南アジア最大の環境見本市「IGEM2013」に合わせてマレーシアへ環境ビジネスミッションを派遣。MOUの調印、双方が連携してビジネス案件の組成等を進めて行く予定。

## (1) 九州経済産業局長表敬

- **日時:** 7/8(月) 9:30-10:30
- **意見交換:** マラッカ州ではグリーンテクノロジーの導入に注力しており、特にLED照明、太陽光関係、製造業の廃棄物対策、リサイクル、スマートシティ計画等への投資を要望。また、20の総合大学もあるので、高度人材の交流も希望したいとの話があった。  
一方、廣實局長から、グリーンテクノロジーの開発や人材育成でトップクラスの九工大等を交えた交流について検討したい旨回答。

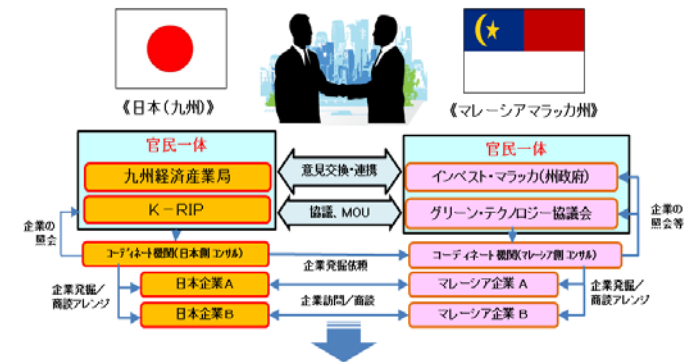


## (2) 協議

- **日時:** 7/10(水) 9:30-10:30
- **協議内容概要:**  
九州地域の環境ビジネスポテンシャルのプレゼンを踏まえ、環境産業交流に係る4つの提案を行った。  
マラッカ州政府団から強い関心が示され、全て快諾された。



ビジネスマッチングのスキーム図



**提案1:** MOU締結(署名機関、協議の計画等)

**提案2:** 九州のミッション派遣(10月)への協力

(訪問先企業リスト等の情報提供、助言等の依頼)

**提案3:** 環境課題等の情報提供

(地域の環境問題や日本との交流に関心のある企業の情報等の提供を要請)

**提案4:** ビジネスマッチングの実施スキームへの協力

(コンサルティング会社への情報提供、助言依頼等)

『グリーンテクノロジーシティ構想への貢献』  
及び『WIN-WIN関係の構築』

## (3) 歓迎レセプション

- **日時:** 7/8(月) 18:00-20:00
- **意見交換:** 九州経済産業局が、K-RIP、北九州商工会議と連携して、企業とマラッカ州政府との意見交換の場、交流の場を創出。企業側とマラッカ州政府団との間で、投資環境等について自由な意見交換が行われた。



## (4) 企業訪問

マレーシアの環境関連ニーズを踏まえ、ビジネス交流に関心を持つ企業への訪問をアレンジ。マラッカ州政府団からは、リサイクル技術を持つ企業に対し特に関心が示された。



[写真左]  
北九州エコタウンセンター  
エコタウンの造成にかかる経緯、国や自治体からの助成等について活発に質問がなされた。



[写真左]  
日本磁力選鉱(株)  
電子製品等を丸ごと解体装置に投入して精緻に分別される機械に高い関心が示された。



[写真左]  
TOTO(株)  
わずか3.8ℓしか水を使わない省水型便器等の製造工程を視察。



[写真左]  
トータル・ケアシステム(株)  
紙オムツのリサイクル技術、社会システム、収益のシステムについて高い関心が示された。



[写真左]  
(株)シタ  
低水位でも発電が可能な水力発電施設等を見学。



[写真左]  
正興電機製作所(株)  
高度な水質浄化監視システム、次世代蓄電システムなどを見学。

## (5) 九州エコフェアの視察・商談

- **日時:** 7/10(水) 13:00-17:00
- **視察概要:** 九州エコフェアに出展するK-RIP 会員企業(西部ガス(株)、日本乾溜工業(株)、(有)九電工、(株)SUMIDAなど)の出展ブースを中心に訪問。  
マラッカ州政府団から製品等に対し、数々の質問が寄せられるなど、高い関心が示された。



〔各ブースを訪問する一行〕

## (6) マラッカ環境ビジネスセミナー

- **日時:** 7/10(水) ①15:15-15:45、②16:15-16:45
- **セミナー概要:** マラッカ州の投資環境、環境ビジネスの機会を広く周知すべく、マラッカ州政府団からプレゼンを実施。活発な質疑が行われた。
  - ・ラムリ氏(マラッカ州投資局長)からは、マラッカ州の投資コストの低さ、インドネシアとの近接性、インフラの整備状況、質の高い労働者の確保が容易であること等を説明。
  - ・ハフィザム氏(グリーン・テクノロジー・協議会幹部)からは、マラッカ州がマレーシアの中で、環境への取り組みが先導的な地域であること、現在、水処理やリサイクルなど21分野で大規模プロジェクトを進めており、投資機会が豊富であること等を説明。



## 参考資料④: マラッカ州ミッション団メンバー

No	名 前	所 属・役 職
1	ダトゥク・ユノス	文部、高等教育・科学・グリーンテクノロジー・イノベーション担当大臣
	YB DATUK MR MD YUNOS BIN HUSIN	CHAIRMAN OF STATE OF EDUCATION, HIGHER EDUCATION, SCIENCE /GREEN TECHNOLOGY/INNOVATION MELAKA STATE
2	ラムリ	マラッカ州インベスト・マラッカ 局長
	MR RAMLI BIN MOHD ALI	GENERAL MANAGER OF INVEST MELAKA
3	カマルディン	マラッカ・グリーン・テクノロジー協議会 最高幹部
	MR KAMARUDIN BIN MD SHAH	CHIEF EXEC.OFFICER PHTJ
4	マズリナ・バキ	マラッカ州経済企画ユニット 秘書課長
	MDM MAZLINA BAKI	THE STATE ECONOMIC PLANNING UNIT- CHIEF FOR GOVERNMENT SECRETARY OFFICE
5	シャムズル・アムビア	マラッカ州経済計画ユニット 副参事官
	MR SHAMSUL AMBIA BIN ABDUL AZIZ	ASS.CHIEF GOV THE SECRETARY, THE STATE ECONOMIC PLANNING UNIT
6	モハド・ハフィザム	マラッカ・グリーン・テクノロジー協議会 幹部
	MR MOHD HAFIZAM BIN MUSTAFFA	ADMIN OFFICER PHTJ
7	ノア・ハフィザフ	マラッカ州インベスト・マラッカ 幹部
	MDM NOR HAFIZAH BINTI MOHD NOR	OFFICER OF INVEST MELAKA
8	シティ・アズラ	旅行代理店
	MDM SITI AZURA BINTI ARIFIN	MANAGER TRAVEL AGENT

# 参考資料⑤: マレーシア・マラッカ州概況



## マレーシア

- 人口2,900万人、国土33万m<sup>2</sup>(日本の0.9倍)、宗教 イスラム教、英語(公用)
- 経済 成長率6.5%(1957~2005年平均)、2011年5.1%  
天然資源、輸出型製造業(電気・電子製品、パーム油、LNG)で発展  
一人あたりGDP9892米ドル(2011年)
- 政策
  - ・ナジブ政権のもと「第10次マレーシア計画(2011年~2015年)」を推進。2020年先進国入りを目指す。  
目標値: GDP成長率5.8%/年、一人あたりGDP12千ドル(2015年)  
重点産業11分野と重点1地域を選定。
  - ・パーム油・バイオ関連製品、ビジネスサービス(環境技術関連の振興)、大型開発事業 など
  - ・再生可能エネルギー買取制度(FIT)の開始(2011.12月)
- 環境問題  
河川汚染、ゴミ不法投棄、ヘイズ(野焼きの灰)など。  
上水道は普及率半島部99%だが回収率6割程度(漏水、浸水)

## マラッカ州

- 地勢: マレーシア首都KLとシンガポールの中間。幹線道路のアクセスが整い、新幹線も敷設見込み。
- 人口: 約83万人
- 主要産業: 製造業(電子部品、電子機器)、サービス業(観光、医療)
  - \* パナソニック、明電舎、日立マクセル等28社立地
  - \* リサイクルライセンス企業が多く存在
  - \* 観光客: 約1200万人(2011年)、世界遺産「マラッカ海峡の歴史的都市群」
- 政策: 低炭素グリーンシティの構築(21プログラムの推進)
  - \* 州政府自らPV会社を開発・運営するなど、低炭素都市を目指し、廃棄物処理、リサイクル、省エネ投資などを推進